

パレット保育園・センター南

2024年度自己評価表

評価日：2025年2月15日

2023.07.24第三版

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育方針の 共通理解と 全体的な計画等の作成	1	保育の理念や基本方針が子どもを尊重したものに なっており、全職員が理解し、実践しているか	A	園内に保育理念・保育方針・スタッフの使命を掲示している。 年度初めの職員会議や研修時に読み合わせや確認をし、周知徹底してい る。
	2	全体的な計画は基本方針に基づき、子どもの最 善の利益を第一にして作成されているか	A	前年度の見直しをし、職員会議で読み合わせをし、作成している。
	3	日常の保育を通して子どもの意見や意思をくみ取 る努力をし、指導計画に反映させているか	A	子どもの成長を考慮し、計画を柔軟に見直している。言葉で表現できない子 どもの場合などは、気持ちを代弁しながら意思を確認したり安心感が持てる ようにしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・新入社員研修会で基本方針、保育理念等について研修を行っている。 ・新しく入った社員には、フォロー担当がそれぞれのマニュアルを研修して保育に臨めるようにしている。 ・各マニュアルは、見直し、改訂のたびに掲示し、確認をする時間を設けている。 ・見学者や新入園の保護者に対し、保育理念や方針について詳しく説明を行っている。			
	【課題・対策】 ・勤務するスタッフも保育方針について、年に何回か、再確認をする時間を設けて理念・方針に根付いた保育を目指していく。 ・園内研修の中で読み合わせ・声掛けをしていく。			
子どもの発達や 状況に応じた 適切な援助の実施	4	入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題 を把握しているか	A	入園児に個人面談を実施し、担任が把握する。重要事項は全職員で共有す る。
	5	新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか	A	園児の状況に応じ、1週間程度の慣らし保育をおこなう。保護者との情報共 有・交換のために保護者用アプリ『コドモン』の連絡ノート機能でコミュニケー ションを図っている。
	6	子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成して いるか	A	クラス担任が中心となり、作成し、年に数回振り返り・反省を元に見直しを 行っている。保護者の意向も可能な限り反映している。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・重要事項等に変更、追加があった際は昼礼やクラスmtgにて全スタッフで共有している。 ・入園前の個人面談や入園後は、登降園時に家庭での過ごし方など園児の様子を保護者の方に日々伺い、全スタッフで共有している。 ・園児の個人記録の記入については担任や保育者同士での話し合いで、進めていくようにしている。 ・年に2回、保護者との個人面談を実施している。また、必要や要望に応じて、保護者と担任・臨床心理士との個別面談も 実施している。 ・週案及び日案において、特質ある子どもへの特記事項を記録している。 ・専属の心理士の巡回を依頼し、必要時に気になる子へのかかわり方の指導を受けている。 ・園児の通う療育センターとの連携も密にとる中で、フィードバックした内容は議事録に取りながら、要配慮児のかかわり方を、 担任だけでなく、クラスmtgなどで報告をして皆で共有できるようにしている。			
	【課題・対策】 ・受け入れ時前に、子育て広場の利用が可能になっているので、周知させながら、慣れ保育前にも通所を進めながら、安心して通えるように連 携して取り組んでいく。			
快適な施設環境の確保	7	子どもが快適に過ごせるような環境への配慮がな されているか	A	各部屋に温湿度計を設置し、チェックをする。毎日清掃・消毒をおこない、清 潔を保つようにしている。
	8	子どもの発達に応じた環境が確保されているか	A	食事や午睡の空間を作っている。異年齢交流、自由保育、コーナー保育など を取り入れている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・成長に合わせた玩具を子どもたちの様子を見て入れ替えたり、興味を示すものなど積極的に取り入れるようにしている。 ・必要に応じて部屋会議を行い、玩具、レイアウト等子どもの成長に合わせ変更している。 ・個々の成長に合わせて、縄跳びなどを取り入れたり、ルールのある遊び(ドッチボールなど)を取り入れている。 ・子どもの遊びの流行に合わせてコーナー遊びの環境を変えている。 ・部屋の棚の角などには、すべてにカバーをして、安全を確保している。 ・必要に応じて、縦割り保育を計画的に実施している。			
	【課題・対策】 ・玩具(特に乳児)の数を増やしたり、質の向上をはかっていく。			
一人一人の子どもに	9	子ども一人一人の状況に応じた保育目標を設定 し、それにじた個別指導計画を作成しているか	A	0～2歳児は一人ひとりの状況に応じた個人別の月案を作成している。
	10	子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、 その記録があるか	A	成長発達記録・園児健康診断記録表・健康カルテ等、必要書類をコドモン内 に記録をし、全職員で情報共有をしている。

一人一人の子どもに

パレット保育園・センター南

2024年度自己評価表

評価日：2025年2月15日

2023.07.24第三版

項目	番号	内容	評価	実施していること
一人一人の子どもに個別に対応する努力	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・個別指導計画を作成するときは担任で話し合い個々に合わせた目標を設定するようにしている。 ・日々、クラス内で気になる子の発達の話し合いをし、個人別月案を作成している。 ・部屋で話し合いを持ち一人ひとりの成長に対し情報を共有している。 ・要配慮児や、不安定になっている児・保護者などの様子を毎週のmtgで報告し、全スタッフで共有できるように議事録を回覧している。			
	【課題・対策】 ・2、3歳児が同じ部屋で過ごしている中、成長発達が異なるため昼食や午睡時間がずれてしまうので、昼食の部屋を分けるなど、対策を考えていく。			
保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み	11	特に配慮を要する子どもを受け入れた場合、保育する上で、必要な情報が共有化されているか	A	ミーティング時に情報共有をし、対応を話し合っている。外部の専門機関の研修に参加し、その内容も共有をしている
	12	虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか	B	毎日の受け入れ時に視診・触診を丁寧にしている。送り迎え時の会話などからも早期発見に努めている。独自の児童虐待マニュアルを配備しており、全職員で研修をしている。
	13	アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができていないか	A	独自のアレルギー対応マニュアルを配備し、全職員で研修をしている。マニュアルに沿って、書類、環境、備品を整え、誰でもがわかるよう対応をしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・配慮児の通う療育センターと連携して、保育園に巡回し、成長発達を共有しながらかわりを深めていっている。 ・保護者と連携を密にとり、日々子どもの成長や変化を把握している。また、面談が必要に感じた時はいつでも行うようにしている。 ・昼食で明日のメニューの確認をし、除去または代替食情報をスタッフで共有している。 ・テーブルにアレルギー時の席をつくり、名前、場所をトレイと食札で園児にもスタッフにも視覚でわかるようにしている。また、離乳食も一人ひとりのトレイと食札で確認しやすく提供している。 ・アレルギー児には個別の台布巾で対応している。 ・配膳時にはスタッフ同士で声を出し確認し配膳を行っている。 ・給食室からの配膳時に給食スタッフと保育スタッフでメニューの確認(除去、代替)を声に出し行っている。 ・施設長検査時・0.1歳児の配膳前の給食室とからの受け取りの際は、各々食材表を確認し、チェックをしながら受け取るようにしている。			
	【課題・対策】 ・同じテーブル内でアレルギー児が食べなくてはいけない場合があるので、仕切りをうまく使いながら接触のないように気を付けていく。 ・虐待の研修をマニュアルだけでなく、ディスカッションなども園会議でおこなっていく。			
苦情解決体制	14	保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか、また迅速に対応できる仕組みになっているか	A	苦情処理規程にそって、園内に苦情受付体制の掲示をしている。園だけではなく、第三者委員、公的機関にも要望や苦情を伝えられる仕組みになっている。普段の要望はコドモン内の連絡ノート機能や行事アンケートでも伝えることができる。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・玄関にご意見箱を設置している。 ・年度初めに、説明会を行い、苦情受付担当の紹介をし、周知してもらうようにしている。 ・年に2回、代表保護者との運営委員会を設け、保護者からの意見を伺える場を設けている。			
保育内容(あそび)	【課題・対策】 ・意見箱の設置を毎年保護者の方々に再確認し、周知の徹底をはかっていく必要がある。 ・懇談会などの機会を増やしていく。			
	15	子どもが主体的に活動できる環境構成ができていないか	A	年齢や発達に応じたおもちゃをそろえている。自由遊びの時間はコーナー保育ができるよう工夫をしている。
	16	遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか	A	朝・夕は子どもたちが自由に遊べるように時間を設けている。
	17	動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか	A	おいも掘りをおこなっている。野菜・花の栽培やカブトムシを育てたりしている。
	18	子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか	A	独自の能力開発プログラムの中に、絵描き歌、運動プログラム、文字や数字に興味をもてるテキストを準備している。またそれを毎日の保育に取り入れている。
	19	遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか	A	朝、夕の合同保育の時間だけでなく、異年齢保育をおこなっている。園児同士の関わりだけでなく、職員が仲立ちをしながら会話や関わりを持って保育をしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・野菜の栽培やさつまいもの収穫に取り組み、全園児で楽しんでいる。 ・自由遊びの際は園児が希望する遊びを遊び込めるように工夫をしている。 ・目線を考えて環境構成を配置している。 ・年長児は近隣園の年長児や小学生との交流活動に参加している。 ・独自の運動プログラムがあり、保育の活動の合間などにも基礎体力作りの運動遊びを取り入れている。 ・全学年で可能な限り、月1回リトミックなどの縦割り保育を行っている。			
	【課題・対策】 ・遊びこめる環境作り・部屋の清潔に重点を置き、各部屋での話し合いや環境整備を季節ごとに持てるようにしていく。 ・春夏秋冬は、野菜の栽培などを活発におこなっているが、冬の野菜などを育てる経験も取り入れていく。			

パレット保育園・センター南

2024年度自己評価表

評価日 : 2025年2月15日

2023.07.24第三版

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育内容(生活)	20	食事を豊かに楽しむ工夫をしているか	A	個々の食事量に配慮しながら、完食の喜びを味わえるような調理方法や配膳方法を工夫している。職員も指導食を食べながら、食材についての話をしたりと楽しい雰囲気の中で食事ができるように声かけをしている。
	21	食事の場、食材、食器等に配慮しているか	B	献立は、季節の移り変わりに合わせ、旬の食材を使用し、行事メニューや物語メニュー郷土料理メニューなどを取り入れている。食器・食具は年齢に合ったものを使用している。
	22	子どもの喫食状況を把握して、献立の作成、調理の工夫に活かしているか。	A	給食スタッフは子どもたちの喫食状況を見て、残食状況もチェック・記録し、献立作成に反映させている。2週間ごとの繰り返しメニューにすることにより、切り方、味付けの工夫を改善できる。
	23	午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。	A	乳児はコドモン内の睡眠チェック表を使用し、睡眠時の体調をチェックしている。年長児は秋以降から午睡時間を減らしていくが、個々の状況で対応している。室温や採光の調節をし、心地よい眠りにつけるよう配慮している。
	24	排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。	A	各家庭と連携を取りながら、無理のないように進めている。トイレがリラックスしていける場所になるよう環境面の工夫をしている。
【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・『物語メニュー』ではおやつを食べる前後に絵本を読んでいる。 ・乳児は遊びの環境・食事をするところ・寝る場所を区切っている。 ・2,3歳児は、食事するところ・寝る場所を区切っている。 ・食材表でその日使ってる食材・栄養素を知り、興味を持って食事ができるようにしている。 ・眠りに入りやすいような、BGMを0.1歳児は流している。 ・ディスプレイを目立つところへ設置して、保護者も給食を身近に感じ、家でも食育の共有ができるように工夫している。 ・園独自の食育マスターという教材を使用し、食への興味関心を育てている。				
【課題・対策】 ・離乳食時の食具が、もっと使用しやすいものを検討していく。また、0.1歳児の食具も検討していく。				
健康管理	25	子どもの健康管理は、適切に実施されているか。	A	園児健康診断記録表や健康カルテに、個々の健診・測定の結果を記録している。既往症・アレルギー等については全職員で情報共有して対応をしている。
	26	感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。	A	独自の感染症マニュアルがあり、保護者にご協力いただく部分は園のしおりに記載をしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・感染症に一人かかったら保護者に掲示と配信で知らせている。また家庭での予防や嘔吐物の処理方法もお知らせをしている。 ・毎年、園内会議で衛生管理のマニュアルの読み合わせや見直しをしている。また、嘔吐処理の実践・研修もしている  【課題・対策】 ・幼児クラスも玩具消毒の回数を増やしていく。			
衛生管理	27	衛生管理が適切に行われているか。	A	保育室・トイレ・厨房を毎日清掃し、掃除チェック表を用いて管理している。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・東急の衛生管理の研修に給食スタッフが常時参加している。 ・給食研修会議は年に1回集まって情報共有している。(1回はzoom)  【課題・対策】 ・衛生管理の研修に保育スタッフも参加していく機会を設けていく。 ・幼児の部屋の消毒を日にちを決めて行っていく。			
	安全管理	28	安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。	A
29		事故やけがの発生時及び事後の対応体制が確立しているか。	A	事故の振り返りシートを作成し、再発防止を園内で話し合い、実行している。近隣医療機関をまとめた一覧を作成し、迅速に対応できるようにしている。
30		外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。	A	玄関はオートロックになっており、在園児の保護者のみにカードキーを付与している。来客やカードキーを忘れた場合は名前・顔確認後に施錠解除している。警備会社への通報システムがある。不審者対応訓練を年1回おこなっている。
【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・年に1回の不審者対応訓練を、東急のスタッフと防災センターと連携を取り合っている他、追加して年に2回不審者対応訓練を行っている。 ・環境を整備しながら、各部屋の安全管理について考えている時間を設けている。  【課題・対策】 ・各部屋の安全について考えて整備する時間を、会議の時などに取り入れていく。				

パレット保育園・センター南

2024年度自己評価表

評価日 : 2025年2月15日

2023.07.24第三版

項目	番号	内容	評価	実施していること
人権の尊重	31	保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。	A	否定語を使わないよう職員間で話し合ったり、研修などで言葉づかいを振り返ったりしている。子どもの名前は呼び捨てにしない。
	32	必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。	A	仕切りを使うことでプライバシーを確保したり、好きな遊びや一人になれるコーナーを設置している。
	33	個人情報の取り扱いや守秘義務について職員に周知しているか。	A	守秘義務については全職員が入社時に説明・研修を受け、誓約書を提出している。保護者にも個人情報の取り扱いについて同意書をいただいている。個人情報は鍵のかかる書庫で管理をしている。
	34	性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。	A	発表会での役決めなどは子どもたちと話し合って決めている。父の日、母の日は感謝の日とし、父・母で分けることはしない。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・毎年、人権擁護の研修を取り入れ、自分自身の行動に対しての振り返りを行っている。 ・0・1歳児においては、部屋でのおむつ替えの際に見えないようにパーテーションを設置し、空間を確保している。  【課題・対策】 ・子どもへの言葉がけの研修なども取り入れて、年に1度ではなく、振り返りを持てる時間を増やしていく。 ・帰りの会・行事などの時の園児の呼びかけを〇〇さんで統一していく。			
保護者との交流・連携	35	個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行い、情報共有や相談対応をしているか。	A	送迎時に様子を伝えるだけでなく、年1～2回個人面談をおこなっている。またそれ以外でも相談があった際には個別に対応している。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・年に1回、保護者保育に参加できるババママ先生という保育体験会を実施している。(希望制) ・園の外側の東急の廊下部分にあたる壁側に子育てポケット(育児の知恵など)や、園の行事の誘致・ミニレシピなどの掲示をしている。 ・年に1回、パレット学習タイムの参観日を設けている。 ・年に1回、親子レクリエーションを全園児参加で行っている。 ・卒園児の保護者が定期的にイベントを園内で実施し、在園児の保護者や地域の同じ子どもを持つ保護者と交流をもっている。  【課題・対策】 ・年の始めに各クラスの懇親会を持っているが、その他にも懇談会などの形での交流をはかっていけるような機会を増やしていく。 ・園で行っているイベントをコドモンにて配信するなど、周知できるようにしていく。			
保育所の専門性を活かした相談機能	36	地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。	A	育児相談日(要予約)を設け、対応している。夏祭り等は園を開放し、地域住民の方も気軽に園を見ることができるようになっている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・子育て広場の開設時間(9:30-16:00) に子育て相談の窓口を開設している。  【課題・対策】 ・電話相談などの周知があまりされていないので、チラシなどでの周知配布をしていく。			
保育所の地域開放	37	子どもと地域との日常的な交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。	A	近隣園と交流をしたり、地域のイベントやお祭りに参加している。お散歩時には地域の方に積極的に挨拶をし、交流するようにしている。
	38	利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。	A	定期的に見学日程を設け、対応している。また都合がつかない方には個々の希望日に対応をしている。ホームページにも詳細を記載し、メールでの問い合わせも可能としている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・子育て広場常設園として4月より開園し、週に3回園庭や保育室の開放をスタートし始めた。また、月に1回交流会やイベントを開催し、近隣の方々が気軽に遊びにこられる園作りをしている。 ・年に数回、在園児との交流会を開催している。  【課題・対策】 ・もっと周りに周知されるように、チラシ配布や区役所掲示などを積極的に行っていく。			
実習生・ボランティアの受け入れ	39	実習生・ボランティアの受け入れを適切に行っているか。	A	希望があった場合、できる限り受け入れをしている。受け入れ時には施設長が園の方針や注意事項等をしっかりと伝え、参加してもらっている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・中学生の職業体験を実施している。 ・実習生やボランティアは、問い合わせが入った時に、受け入れる体制をとっている。(自分で実習先を探して電話をかけてくる場合が増えているため)  【課題・対策】 ・学校訪問などして、実習生の受け入れもしていますと、園側からも声をかけるなどしていく。			

パレット保育園・センター南

2024年度自己評価表

評価日：2025年2月15日

2023.07.24第三版

項目	番号	内容	評価	実施していること
職場の人材育成	40	保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。	A	募集媒体・ホームページ・面接時にパレット保育園の理念や方針が伝わるように説明している。また入社後も内部・外部問わず研修に参加している。
	41	職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。	A	法人本部のさまざまな研修や外部研修を利用し、一人一人にあった育成計画にそって受講している。研修を受講した職員は研修報告書を作成し、内部研修にて他の職員と共有している。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・園独自の各マニュアルを担当しているスタッフが、途中入社において初めに指導する体制を整えている。			
	【課題・対策】 ・途中入社のスタッフにもOJTの取り組みを設けていけるようにする。			
職員の技術の向上	42	保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を評価し、改善に努める仕組みがあるか。	A	園内会議だけでなく、クラスや部屋の会議などを利用して、振り返りをおこない、計画作成に反映させている。
	43	保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。	A	年1回、自己評価シートを使い、会議などで振り返りをおこない、チェックをする。課題を見つけ、改善策などを意見交換している。また第三者評価も受審し、客観的な振り返りもおこなっている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・保育の質の向上に向けて、役割分担できる係決めを行い、環境整備・衛生管理・縦割り保育・保育研究・避難訓練と分かれて企画推進を行い、会議の時に話し合いや取り決めの時間を設けている。			
	【課題・対策】 ・必要と感じる保育スキルを話し合って、向上していけるような研修を会議のなKで取り入れていく。			
経営管理	44	事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。	A	法人本部にて最新情報を入手し、共有をしている。職員採用時には法人本部にて初期研修をおこない、個人情報の遵守、倫理について学んでいる。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・施設長会議での情報を、会議の毎にスタッフ全員で共有できるようにしている。 ・キントーンで届く最新情報もすぐに本部・園で周知できるようにしている。			
	【課題・対策】 ・会議不参加のスタッフが、受け身になりがちなので、回覧後に、質疑応答などの時間・口頭で伝えるべきものなどはしっかりと伝えて共有できるようにしていく。また、短時間のパートのスタッフが時間内に読む時間を作るようにしていく。			
園目標や自己評価結果に対するの 反省・課題 (事業報告書へ)	日々、園目標を意識して、保育者自身が子どもたちと遊びを楽しむことができた。その積み重ねにより、充実した日常につながると良いと思う。また、職員同士、密に連携を取り合うことができ、日々の保育を円滑に行うことができている。そのため、笑顔に繋がられている。職員が体調を崩した時には皆で助け合いながら運営を円滑に行うことができた。同じ部屋の中では、思いやりやコミュニケーションが取れていたと感じる。子どもの様子や一人ひとりの対応について、その都度話し合い、お互いが保育しやすい環境を作ることを心掛けていたため、園目標についてはほぼ達成できたと感じている。今後の課題としては、行事や書類などに追われてしまうこともあったので、もう少し心にゆとりをもって、仕事をしていきたいと思う。そのために、各部屋での、書類ややるべきことへの進捗状況を伝え合って、ノンコンタクトタイムの充実化をはかっていきたい。また、保育の質を高めるために、保育のスキルアップに繋がられる役割・係について話し合って研修などをますます充実させていく必要がある。			